

フキ指導案 チーム四小

青 梅 第 四 小 学 校
授 業 改 善
4 年

11月 13日(木) 1時間目

「小数」 5/8

本時のねらい

○小数のたし算も、位ごとに足せばよいことがわかる。

本時のこだわり ふだんは、意味→練習の流れですが、逆にしてみます。「整数と同じ手順だ！」という安心感をまず得たいと思います。

段 階	学習活動	指導・支援 (○) 評価 (☆)
導 入	1. 問題を提示する。 C:たし算だ！ C:2. 25 + 1. 34 水槽に水が2. 25L入っています。 この中に、1. 34Lの水を入れると、全部で何L？ 2. めあての確認。 小数のたし算の仕方を説明しよう。	【アウトプット型めあて】
① 筆算形式の習得	3. 筆算の仕方を理解する。 ・筆算の形で書く。 ・予想で計算してみる。(ほぼ全員できるのでは?) ・電卓を使って、答えを確かめる。 ・桁数が異なる筆算の書き方の注意を確かめる。 4. 練習問題(4問*)に取り組む。 T:答えの最後が0の時は、\で消します。(?)	【展開を2段階に】 ○位を揃えているか確認する。 【間違い訂正】 *普通、0あり、末0、桁数違い
② 根拠をつなげる	5. 筆算形式の理由を考える。 ・教科書の2人の説明を互いに説明する。 C:0.01Lの計算が5 + 4、…。合わせて、3.59L。 ・それぞれ、筆算のどこにつながっているかを考える。 C:それぞれの\ごとに計算しているのが、位ごとに計算しているところになる。	
ま と め	6. 学習をまとめる。 ・小数のたし算も、位ごとに計算できる。(整数と同じ!) ・筆算は、同じ位をそろえて書く。 7. 練習問題に取り組む。	☆たし算(筆算)の仕方を説明している。(観察、ノート)

